

2019年6月21日

<報道発表資料>

国際ケーブル・シップ株式会社

国内初の電力・通信ケーブル敷設船 「KDDI ケーブルインフィニティ」が完成

KDDI 株式会社の子会社である国際ケーブル・シップ株式会社（以下 KCS）は、2019年6月21日、ケーブル敷設船「KDDI ケーブルインフィニティ」（以下 本船）の完成に伴い、コロombo造船所から本船の引渡しを受けました。本船が日本へ向けての航海を開始しますことをお知らせします。



<KDDI ケーブルインフィニティ>

本船は、これまでの通信・資源探査ケーブルに加え、日本で初めて電力ケーブル工事への対応が可能となります。また、KDDI グループの衛星通信・移動体ネットワークや IT ソリューションのノウハウを駆使し、船舶における革新的 IT 環境を導入しています。船上設備の稼働状況やケーブル敷設状況などの多種データを、船内と陸上とでリアルタイムで共有できるなど、現場の効率化とインテリジェント化の実現を目指します。また、陸上の大規模災害時には、本船に搭載された船舶型基地局により、au 携帯電話の疎通復旧の支援機能も備えています。

今後は、ケーブル船に必要な、埋設機や ROV（Remotely Operated Vehicle: 水中ロボット）などの主要ケーブルハンドリング機器を搭載し、2019年9月からの本格就航を予定しています。

KCS はこれまで、アジア・太平洋域 44,500km の海底通信ケーブル保守を行う KDDI オーシャンリンクの他、国内外の通信ケーブルや地震観測・資源探査ケーブルの建設や保守を行う KDDI パシフィックリンクの運航により、日本・アジア域の通信環境の発展、防災、海洋資源開発に貢献してきました。今後は、通信ケーブルで培った経験・ノウハウと高い耐候性を活かし、洋上風力・潮流発電など、電力インフラの分野にも注力します。

KCS は、KDDI グループの一員として、社会とともに持続的な成長と発展する未来に向けて、最新の電力・通信用海底ケーブル敷設船の運航を通じ、より信頼性の高い通信サービスの提供に取り組んでいきます。

KDDI ケーブルインフィニティ概要



主要目

1	総トン数	9,766 トン
2	全長	113.1 メートル
3	全幅	21.5 メートル
4	定員	80 名
5	速力	13 ノット
6	牽引力	80 トン
7	船籍	日本

国際ケーブル・シップ株式会社

本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：安楽 孝明

以 上